

2024年10月

からし種

カトリック片瀬教会



## 共同体のさまざま

ブランチフィールド神父

9月27日、朝、涼しい。

暑い暑い夏はいよいよ過ぎて、秋らしい日々は楽しみです。

4年前に世界中に広がったコロナは、まだ消えていないが、幸いにもう命取りではなくなりました。私が片瀬に来てから、共同体をその影響から引き上げようとしていますが、もう少しです。ミサの出席は上がっていますし、秋のバザーも復活しました。

コロナの影響はお葬式のあり方に、よく感じます。かつてはお通夜があって、翌日は葬儀ミサがあったが、もう火葬の日だけ、祭壇の前に納棺して、葬儀ミサと告別で終わります。「集まってはいけない」と言われていた影響か、関係のみなさん以外に共同体の仲間の見送りが少ない。

この傾向が続くと、大事なものが失われる恐れがあります。共同体のみなさんは、みな兄弟姉妹ではないかと思えます。一人が亡くなったら、みんなで見送りたいではないかと思えます。

教会共同体とは、いちばん年長者から、いちばんちびっこまでです。神様がこのみなさんを、絶えず見守ってくださるように、心から祈ります。

## 2024年10月度 教会委員会報告

開催日時：2024年9月15日(日) 11時30分～12時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、会計監査、典礼、総務、宣教司牧、福祉、教会学校、一粒会、シャルル聖パウロ修道女会、聖母訪問会

### ブランチ神父のお話し

信徒会館2階の手摺が塗り替えられました。以前よりサビがあったが誰も何も言わない。営繕を徹底的に調べ、優先順位をつけて予算化してください。庭のマリア像横の丸太のベンチも腐っているが誰も何も言いません。もっと意識してください。

### 全体の報告および連絡事項

1. 9月10日(火)9:00～防火設備点検を実施。聖堂消火器1本交換の他は問題なし。聖堂の「消火器」ステッカーを交換してくれた。
2. 9月29日(日)14:00～ 第5地区「祈る力を育てる部門」片瀬教会 信徒会館2F
3. 今年の敬老カードは、131通でした。
4. 10月はロザリオの月なので、8時、10時のミサ20分前からロザリオの祈りを唱える。
5. 9月22日からミサ後、賛歌の練習を始める。22日8時のミサはAさんが指導する。その後の指導は順次決めていく。

### 各部会からの報告

#### **財務部**

教区への来年度予算案提出期限は10月中旬なので、予算申請予定のある部会の委員は、メールにて9月末までに財務に連絡のこと。

#### **総務部**

今年の敬老お祝いに関連し、対象年齢を段階的に80歳まで引き上げてはどうかという意見あり。

#### **宣教司牧部**

教会パンフレットがなくなったので、2,500部発注した。22日の週に出来てくる。

#### **福祉部**

夏の合宿報告の訂正。利用状況は、6団体7回ではなく、8団体7回(1回に2団体利用した日があり)、また、献金は合計85,000円だった。

#### **教会学校**

コロナから中断していた、対面での保護者会を9月22日から再開する。

#### **一粒会**

第5地区祈りのリレー 10月は片瀬教会が当番。召し出しを求める祈りを毎回共同祈願の中で唱える。

### 検討・決定事項

1. 次年度教会委員会委員選出は、委員会で決めた①各部奉仕者を募集する ②各部会

の現教会委員が次期教会委員を推薦する という決定を柱に教会委員改選委員会を設けルール作りをする。改選委員が決めたルールは、司祭の承認をもって発効することとする。改選委員会メンバーは、全信徒から募集する、お知らせに掲載。

募集期限は9月29日迄、人数は3～4名程度。

2. 教会バザー実行委員を募集する。お知らせに掲載
3. J : COMからの案内で防犯カメラ設置の提案があったが、防犯方法については防犯カメラありきではなく検討していく。もし、カメラをつけるならば現在司祭館の防犯システムSECOMに相談するのがいいのではという意見あり。

次回委員会開催 10月20日

## 第5地区「一粒会祈りのリレー」 10月は片瀬教会が当番

からし種8月号でご紹介しました、第5地区「一粒会 祈りのリレー」の10月は片瀬教会が当番です。毎ミサの共同祈願で以下の祈りを唱えます。

「いつくしみ深い父よ、司祭・修道者の召命のために心を合わせて祈ります。

聖霊の恵みと導きにより、多くの青年が司祭・修道者として生きる喜びを感じ、主とともに歩むことができますようにお導きください。

また、その召命に応えられるよう私たちの共同体が心を一つにして祈り、支えていくことができますように。」

からし種8月号では、5、6月の祈りのリレーをご紹介しましたが、

7月 原宿教会 『神の望みが一粒会を通して実現するように』そのための祈りを、お一人おひとりがそれぞれの言葉を場でお祈り下さい。

8月 戸塚教会 主よ、あなたを仰ぐわたしたちの教会を祝福してください。教会の若者たちのなかから、神と人にと誠をささげる司祭を召し出してくださいますように。

9月 中和田教会 いつくしみ深い父よ、あなたの民を顧み、イエスキリストのために生涯をささげる司祭、修道者の召命をお与えください。聖霊の恵みと力にささえられて、多くの青年があなたの招きにこたえ、あなたの愛に強められて、兄弟姉妹に奉仕する心を与えられますように。

皆さん、一人一人が召命をお祈り下さい。

なお今年の第5地区の祈りのリレーは、11月の藤沢教会をもって終わります。

# アリマのマリア（原城大聖マリア観音）について

親松英治



日本のキリシタン殉教者のため、自分の好きな聖母像を生涯かけて制作してみたいとの思いから、1981年に来日された聖ヨハネパウロ二世教皇様に祝福をお願いして始めたのがこの仕事です。

当時片瀬教会の神父はアイルランド出身のオーエンス神父様であった。ある日、金岩様とアトリエにお見えになり、現在の聖櫃の制作を依頼してくださったのが始まりである。

私はその年のクリスマスミサに初めて片瀬カトリック教会に行き、オーエンス神父の祈る姿に接し、全身が光のオーラに包まれているような神々しさを感じ、深い感動と尊敬の念を持ったのである。私はマリア像の制作にあたって、

敬愛するヨハネパウロ二世教皇様に祝福をお願いして、困難な時の心の支えにしたいことを、オーエンス神父様に打ち明け、又神父様は快く私の文書を英訳しタイプに打ってくださり、紹介状を添えて法王庁大使を通し聖ヨハネパウロ二世教皇様に送ってくださったのである。

しかし長年、日本の仏教美術に囲まれてきた私にとって、聖母像制作のための様式と感覚の転換は容易ではなく、構想には長い時間が掛かりました。こつこつと小品を試作し、一段目、二段目、三段目、四段目と拡大しながらバランスを取り、五段目に漸く本番の楠木による10尺の制作に取りかかりました。

又一木作りでは、このような大木はどこにもなく、樹齢2～3百年以上のできるだけ大きな楠を横にスライスして拡大し、校倉作りにして制作した。これは私の独自の考案です。こうしていつの間にか40年の歳月が流れましたが、多くの方々のご支援を頂き、今ようやく完成を見るに至りました。

教皇様の祝福を心の支えにしながら制作中絶えず念頭にあるのは島原の乱に倒れたキリシタンの三万とも三万七千人とも言われる罪無くして迫害された人々のことです。鉛の弾を鑄て作った十字架を握り、餓、寒さ、血と恐怖の中で聖母マリアの名を呼びながら息絶えた人々へこの像は私の捧げるレクイエム（鎮魂歌）である。

早速、高見三明大司教様から、アリマのマリアと正式命名していただき、またこの像が敵を愛し、己を呪う者を祝し、迫害する者のために祈れ、と言う聖書の言葉により、宗派、善悪、恩讐をこえたものであることを願って俗名を「原城大聖マリア観音」と命名しました。

今この像の建立にあたり、土地を寄進し工事を負担し、私財を投じ、宗派をこえて立ち上がってくださった法人の方々、その他の皆様に深く感謝します。どうか皆様の上に恩寵豊かにありますように。

又 40 年というあまりに長い制作期間の中で四通の祝福を下された聖ヨハネパウロ二世教皇様は既に世を去られ、後を引きついで見守りながら祈って下さった白柳誠一枢機卿様もまたこの世になく、教皇様に紹介状を書き、絶えず祈り続けて下さったオーエンス神父様も既に帰天された。完成をご報告する事ができない淋しさと申し訳なさと胸が詰まる思いである。

大作、原城の聖マリア観音像の制作過程を紹介した DVD が今年 6 月 16 日に信徒会館で上映されました。親松英治さんが、40 年の歳月をかけてお一人で手がけられた大作です。ヨハネパウロ二世教皇の来日が制作の決意になったこと、聖母マリアに寄せる並々なぬ想いを丁寧に説明頂き感動致しました。その感動を共同体全体に伝えたく、編集部からご執筆をお願いしたところ、この度二つの玉稿を賜りました。親松さんはどちらか一方を掲載とのご意向でしたが、どちらも深い信仰と平和への願いがあふれており、主に制作過程を延べられた「アリマのマリア」を本紙に、恩師の導きを延べられた「師匠の言葉と原城大聖マリア観音」を 10 月号別冊とさせていただきます。どうぞ合わせてご覧ください。

親松さんの大作は、長崎県南島原市へ寄贈されました。9 月 16 日、待望の聖マリア観音ホール落成式に、ご家族とご一緒に出席されました。17 日からは一般公開となります。

[からし種編集部]



## 何故10月は「ロザリオの月」と言われるのか

10月7日は、「ロザリオの聖母」の記念日です。由来は、1572年、日本では織田信長の時代、ヨーロッパでは、トルコ帝国の侵略にあつて恐怖の中になりました。それはキリスト教を滅ぼそうとしていたため、残忍な戦いをしていたようです。それを阻止すべく、ベネチアとスペインは教皇のもとに同盟を結び、艦隊を送り、10月7日にギリシャのレパントをいう港においてトルコ艦隊を全滅させ、ヨーロッパを恐怖から解放したのです。この勝利は兵士の武器よりも祈りの結果であるということをおぼえ出すために、時の教皇聖ピオ5世は、その勝利の日にロザリオの聖母マリアの祝日に決めました。

私たちは、10月中のミサの前20分ほどロザリオの祈りを唱えることにしました。気を付けなくてはいけないことは、パウロ6世が指摘したように機械的にならないことです。そうならないために、黙想することを心掛けましょう。

## 敬老のお祝い

敬老の日に際し、78歳以上の方々にブランチ神父様よりお祝いのカードが贈られました。今年もガーデニングサークルの方が作成した教会のお庭の写真に、聖句の入ったポストカード2種を、131通（ご夫婦には連名で1通）用意しました。なるべく手渡しでと言う神父様のご意向に則り、各コミュニティの代表が教会に来られない方々にポスティングをするなど、心の通った敬老のお祝いとなりました。

9月15日の「祖父母と高齢者のための世界祈願日」のミサでは、高齢者の方々に塗油の秘跡が授けられました。



お祝いのポストカード

## 2024年10月

### ☆教皇の意向：使命を担い合う

教会が、共同責任のしるしとして、あらゆる場面でシノドス的な生活様式を維持し、司祭・修道者・信徒の参加と交わりをもって使命を推し進めることができますように。

### ☆日本の教会の意向：シノドス

教皇フランシスコの意向に合わせ、日本の教会がキリストを信じる世界の教会と共に歩むことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

### ☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
10/1 火	聖テレジア(幼いイエスの)おとめ博士 記		マルコによる福音書を読む会 10:00
2 水	守護の天使 記		聖書と典礼を読む会 10:00
3 木			まりあ食堂
4 金	聖フランシスコ(アシジ)修道者記	9:30	ミサ後、ルカによる福音書を読む会
5 土			洗礼を希望している方々のための勉強会 10:00
6 日	年間第27主日	8:00 10:00	
7 月	ロザリオの聖母 記		
8 火			マルコによる福音書を読む会 10:00
9 水			聖書と典礼を読む会 10:00
10 木			
11 金		9:30	ミサ後、ルカによる福音書を読む会
12 土			洗礼を希望している方々のための勉強会 10:00
13 日	年間第28主日	8:00 10:00	
14 月			
15 火	聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士 記		マルコによる福音書を読む会 10:00
16 水			聖書と典礼を読む会 10:00
17 木	聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者 記		
18 金	聖ルカ福音殉教者 祝	9:30	ミサ後、ルカによる福音書を読む会
19 土			洗礼を希望している方々のための勉強会 10:00
20 日	年間第29主日	8:00 10:00	11月度教会委員会
21 月			
22 火			マルコによる福音書を読む会 10:00
23 水			聖書と典礼を読む会 10:00
24 木			
25 金		9:30	ミサ後、ルカによる福音書を読む会
26 土			洗礼を希望している方々のための勉強会 10:00
27 日	年間第30主日	8:00 10:00	教会バザー 11:00~14:00 第5地区「信仰を伝える力を育てる部門」大船 14:00
28 月	聖シモン聖ユダ使徒 祝		
29 火			マルコによる福音書を読む会 10:00
30 水			聖書と典礼を読む会 10:00

## ◆お知らせ◆

### ○賛歌の練習

ミサ新式次第に基づく賛歌の練習を、毎回ミサ後に行います。当面、皆さんが慣れてくるまで行う予定ですのでミサ終了後、そのままご参加下さい。

### ○教会バザー

10月27日(日)11時から14時まで教会バザーを、昨年同様コミュニティ主体のフリーマーケット方式で行います。ミサ時間は変更せず、8時と10時に行います。



2024年10月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>